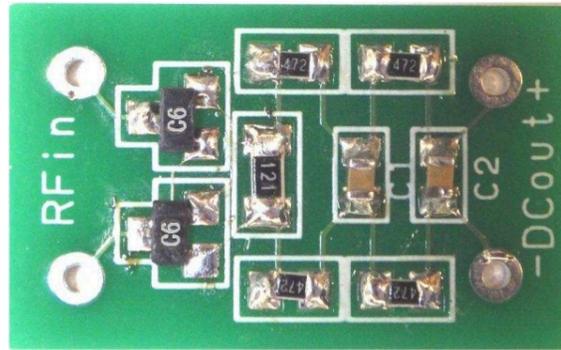


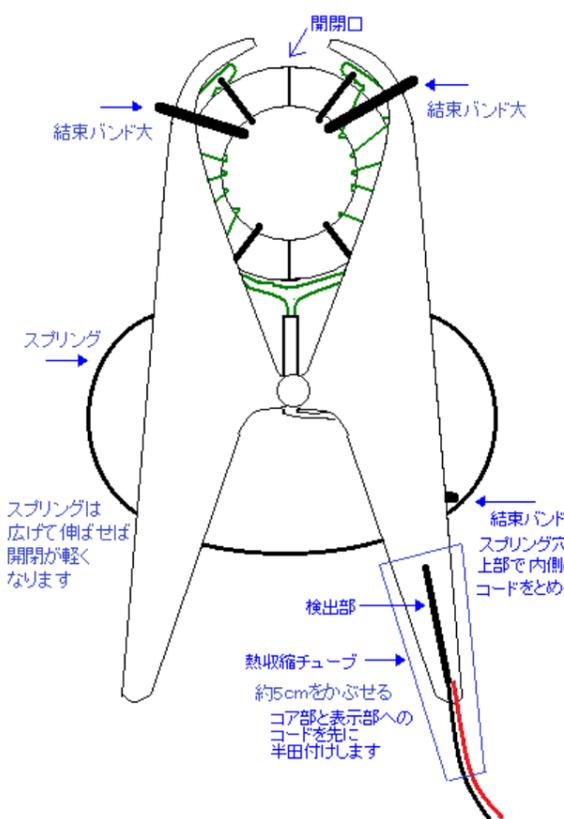
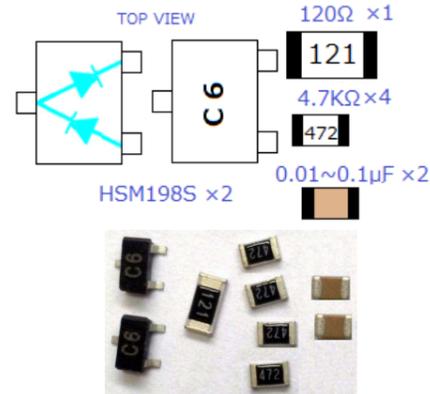
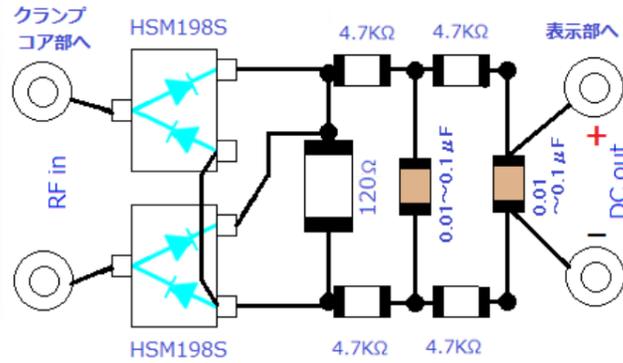
# デジタルRF電流計ver.3 製作例

検出部プリント基板に部品をはんだ付けします



JF1DMQ設計プリント基板

## Ver.3 : 検波、平滑部、構成図

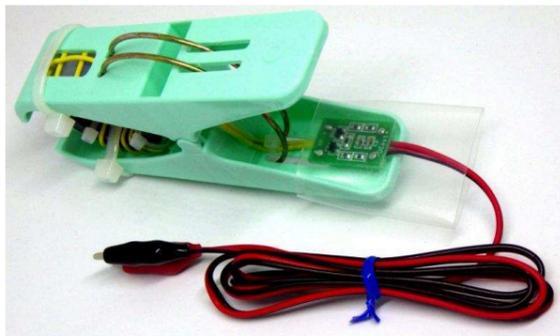


### ver.3 の作り方

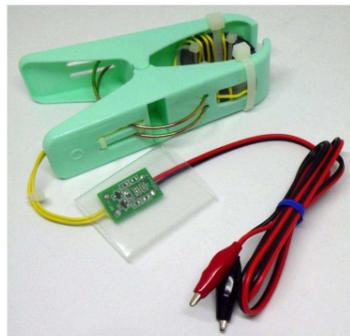
- ① 右側のクランプコアの巻き方の通りナイロンクランプコアに10回巻きして電流トランスを作ります 検出部へのコードに、3mmφの収縮チューブを通します
- ② 特大洗濯バサミに右図のようにはさんで、開閉口に近い方で結束バンド大で固定します 検出部へのコードは内側のすき間から取手の方に通しておきます
- ③ プリント基板で作った検出部にコアからの線と、表示部への赤黒平行線を、それぞれ半田付けします  
 コアからの線は、検波部製作例の写真のように、スプリングの間を通して検波部基板につなぎ、開閉がスムーズになるよう収めます、スプリング穴の上部でコードを固定します
- ④ 透明の熱収縮チューブを、赤黒平行線側から通して、取手の内側に収めた検波部基板ごと、かぶせます (ヒートガンや強力ドライヤーなどの熱風で、収縮固定が出来ます)
- ⑤ 赤黒平行線の先に、ミノムシクリップを半田付けします



検波部基板を取手に内蔵配置した 製作例



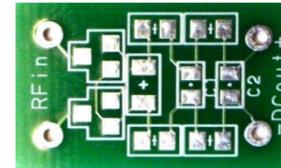
検波部基板をコード中間に配置した製作例



テスターに接続した例



デジタルRF  
電流計  
Ver:3



高周波電流 = 1/10 表示電圧  
 (電流 : 電圧比は1 : 10)  
 測定周波数範囲 : 1.8 ~ 5.4 MHz  
 測定電流範囲 : 1.0 mA ~ 300 mA  
 測定誤差 : ±20%程

## クランプコアの巻き方例

クランプコアにビニール被膜線を10回巻きします (コア内通過数) (ナイロンクランプの上に巻きます) 巻き方の例を紹介します 参考になれば幸いです

ビニール皮膜線は、半分折り曲げて、中間にしるしをしておきます



|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>①クランプコアに結束バンドを4本仮止めします</p>  | <p>②ビニール皮膜線の中間を図のようにコアの下側に合わせ、結束バンドに通して、半分のコアに5回巻きします (コア内通過数)</p> <p>開閉口<br/>中間</p> | <p>③残り半分のコアにも5回巻きします 図のように、巻き方向は同じにします 合計10回巻きとなります (コア内通過数) なるべく等間隔に巻きます</p> <p>開閉口</p> |
| <p>④ビニール皮膜線の端は、巻き線の外側(上側)を折り返し、図の下側の結束バンドに通します 両端とも同じようにします</p> <p>開閉口</p> | <p>⑤完成例-1</p> <p>開閉口<br/>検波部へ</p>  | <p>⑥完成例-2</p> <p>開閉口<br/>検波部へ</p>  |

電流トランスの製作例  
 ナイロンクランプの上から10回巻、開閉口のナイロンの突起部分はカットしました

